

5月30日、山形商高生企画の「駅からハイキング」

地域活性化をテーマに活動する山形市の山形商業高産業調査部(愛称・産調ガールズ、15人)が企画したツアーが、JR東日本の企画イベント「駅からハイキング」として5月

30日に実施される。同校での「どんどん焼き」作り体験を中心に市内を巡るコースで、生徒たちは「高校生らしく元気に山形の良さを伝えたい」と準備に励んでいる。

産調ガールズによるツアーは県内外からのリピーターが多い人気企画で、年1回開催している。過去の参加者は60代が多く、6度目となる今回は「もう一度高校生の雰囲気味わってもらおう」と企画。テーマを「もう一度アオハル(青春)！ どんどん壁ドン山形探検隊」とし、JR山形駅発着の約6kmのコースを設定。老舗菓子店「乃し梅本舗佐藤屋」の工場、国宝の土偶「縄文の女神」が展示されている県立博物館など、これまで訪れていないスポットを回る。

目玉となるのが同校でのどんどん焼き作り。同部は約1年間、その歴史や作り方について研究を続け、各種イベントで振る舞うなどしている。ツアーでは、自宅でも作れるようにホットプレートでどんどん焼きの調理を体験してもらうほか、「授業」を通して参加者に魅力を伝える予定だ。

部員たちは、過去のツアー参加者約80人に手書きの「お誘いはがき」を送るなどしてPRに努めている。部長の2年須藤瑞生さん(17)は「参加者に笑顔で楽しんでもらえるよう準備をした」と意気込む。

ツアーは定員100人で、参加無料。事前予約が必要で、定員になり次第締め切る。問い合わせはJR東日本「駅からハイキング」事務局03(5719)3777。

＝ 県立博物館など巡る6kmコース ＝

ホットプレート使った 作り方を伝授します



目玉はどんどん焼き

「駅からハイキング」に向け、どんどん焼き作りを研究する産調ガールズ
＝山形市・山形商業高